

観察力・洞察力・想像力がポイント

介護の現場で働く魅力!

喜怒哀楽を引き出し、受け止める!

笑顔にするにはどうしたらいいだろう

誰でも嫌なことがあれば怒るし、悲しければ涙します。“喜怒哀楽”それぞれの感情には意味があり、その感情を受け止めることも大切。そんなとき、「この人を笑顔にするにはどうしよう?」と想像力と創造力を発揮するのも介護職の魅力。

医療は症状に、介護は人に寄り添う!

医療と介護との違いを考えてみよう

認知症の人を前に、医師は認知症が進まないよう症状を気にかけて治療をします。介護職員は認知症の人に寄り添い、症状に合わせたケアを心がけることで、「その人らしく生きる」を最も身近で支えることができます!

経験豊富な人とのコミュニケーションが魅力!

クラスメイトを思い浮かべてみよう

高校のクラスと同じで、個性的な人達と出会えるのも魅力の一つ。介護の現場には、人生経験豊富なおじいちゃん・おばあちゃんを支えながら、多くのことを教えてもらえる、コミュニケーションがいっぱい。

その人なりの理由を推理!

どうして徘徊しているのだろう

例えばうろろしている高齢者が家族にいたら、心配で仕方がありません。でも実は、徘徊する人には、不安なことや落ち着かない、その人なりの理由があります。その理由を推理・発見・理解するのが介護職のおもしろいところ。

優しく、ポジティブなことが生かせる仕事

介護職は、高齢化が加速し介護需要が高まるこの国において、欠かすことのできない重要な役割を果たしています。

これまで見てきたように、介護の仕事は、加齢による衰えや病気、障がいがあっても、可能な範囲での自立支援を通し、その方一人ひとりに合わせた“自己実現と生活の質の向上”を目指していく仕事です。これには、専門的な知識や技術、新たな気づきを生むクリエイティブな能力が必要である一方で、皆さんが持っている“優しさ”や“困っている人を思いやる心”、“物事をポジティブに捉える力”が求められるとともに、それらが生かせる仕事でもあります。

Check!

同じように見えて違う役割…隣接分野との関係

医療、保健、福祉・介護、一見すると同じようにとらえがちですが、それぞれの機能と目的の違いを理解して、介護分野がどのような役割を持っているのか考えてみよう。

